



完成したバンダナを身に付ける富田市長

4/10 バンダナ身に付け防災備え

市国際交流協会が、災害時に持ち出すとよい品や防災情報、災害時の用語などを日本語、英語、ポルトガル語の三カ国語で紹介した「防災バンダナ」を作り、富田市長に完成を報告しました。

同協会の各務事務局長は「バンダナなら持ち歩いて使える。名前などを書き込むこともできるので、普段から身に付けて、災害時の身元確認にも役立ててほしい」と話しました。

4/24 Kマネーを初交付

市が今年度から運用を開始している地域通貨「Kマネー」。住宅リフォーム助成事業に係るKマネーの交付第1号として水野さんに初めて交付されました。

Kマネーは、ボランティア活動に取り組んだ市民が付与されたポイントと交換したり、住宅リフォーム助成金、全国大会激励金などとして交付されます。このKマネーが地域に広まり、ボランティア活動による地域の支え合いと地域経済の活性化が進むことが期待されます。



Kマネーの交付を受ける水野さん夫妻



こどもの日にこいのぼりを飾るのはなぜかな？

5/2 こどもの日の集い

市郷土歴史館で、久々利保育園の園児を対象にしたこどもの日の集いが行われました。

保育園では古くから伝わる行事を園児に伝えており、今回はこどもの日の由来を取り上げました。

例年は保育園で開催されるこの行事ですが、今年は郷土歴史館の古民家に自分たちの作ったこいのぼりが賑やかに飾られる中で行われ、85人の園児は郷土歴史館の職員や先生のお話を興味深く聞いていました。

5/3 フィリピンフェスティバルを開催

多文化共生センター・フレピアで、フィリピンフェスティバルが開催されました。当日訪れた300人近い来場者は、民族衣装をまとった伝統的な踊りや、子どもたちによる歌の発表、フィリピンの郷土料理の販売などを楽しんだほか、無料で振る舞われた猪肉料理に舌鼓を打ちました。午後から行われた子ども向けのゲーム大会も大変盛り上がり、来場者は一日を通してフィリピンの文化を楽しんでいました。



民族衣装をまとったフィリピン北部の伝統的な踊り